

(2) ターゲット

公共交通の依存度が高い沿線の高校生・大学生については、J R小野田線を利用して通学可能な範囲に居住しているが、利用していない者（潜在需要）の想定は約600人となっている。そこで、まずは高校生・大学生をターゲットとして「鉄道とバスの共通乗車制度」を構築し、それをベースに通勤や一般利用の拡大につなげていく。

■ J R小野田線の潜在需要（想定）

	大学	高校	計
学生数（2024年1月）	1,686	1,380	3,066
①通学利用者数（全日制定期利用）	86	108	194
J R小野田線利用可能者数	330	285	615
②潜在需要	244	177	421

※学生・学校向けアンケート調査等により推計。

(3) 沿線地域の高校・大学に係る通学市場の分析

高校生は通学時、鉄道を利用することが多いことから、「J R小野田線の利用者数の増加」を切り口として市場分析を行った。

市場分析結果

- 山陽小野田市外、市内厚狭方面からの通学はJ R利用が多い。
- 宇部駅周辺・宇部線沿線エリアはJ R利用と非利用が混在している。
- 小野田駅周辺エリアはのJ R利用は少ない。

鉄道と路線バスで利用者の競合関係が確認される。

施策実施の方向性

共通乗車制度に加え、ダイヤ改善、待ち時間・乗継時間の改善等により、沿線地域公共交通の利便性の底上げ、周知の徹底を図り、潜在需要の掘り起こしを行う。また、それを高校・大学の魅力として内外に発信し、入学者の増大（新たな需要拡大）につなげる。

共通乗車制度の導入にあたっては、バス事業者との互惠関係を構築し、沿線地域の公共交通全体が活性化するような制度設計が求められる。

(4) 高校生、大学生の移動ニーズと運行サービスのギャップ分析

鉄道とバスを共通利用できると想定した際、運行サービスが、どの程度高校生・大学生の移動ニーズを満たすことができるか分析を行った。

移動ニーズと運行サービスのギャップ分析

- 共通乗車制度により、通常の登下校、土日祝の部活動の登下校など、多くの時間帯で駅や学校での待ち時間が30分以内に短縮可能となった。
- 一方で、30分以上の待ち時間となる時間帯が残る。

施策実施の方向性

- J R西日本、船木鉄道に加え、宇部市交通局、サンデン交通との連携を模索し、全体の運行時刻の妥当性・最適性を改めて精査する。
- 移動の円滑化に向けて、鉄道・バスのダイヤ調整・増便を検討する。

JR小野田線沿線地域公共交通持続化プラン 実施スケジュール

区 分	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
持続化プラン	計画策定	改定				
事業実施		集中取組期間 (R7.4~R12.3)				
		段階的拡大期間	本格運用期間			
対象者		高校生 (全学年)		大学生 (全学年)		
共通乗車制度	各交通事業者と調整 参加事業者確定 制度設計 ・ サービス内容 ・ 対象エリア ・ オペレーション ・ 運賃精算、配分ルール等 効果測定、施策評価の手法 検討	実施準備	制度運用 (実施状況を踏まえ、適宜制度改善)			
システム開発	課題検討 ・ 運用オペレーション ・ 出力データ ・ 不正使用防止方策等 システム開発	試験運用	本格運用 (実施状況を踏まえ、システム改修)			
ダイヤ・利用環境の改善	現行ダイヤ、利用環境の課題抽出 増便・ダイヤ調整、利用環境改善の必要性や対応検討、諸調整	鉄道・バスのダイヤ・利用環境の改善 (増便・ダイヤ調整、乗継環境の整備等、段階的に拡充・実施。実施状況を踏まえた微調整)				
広報・利用促進	共通乗車制度利用ガイド (共通時刻表・マップ)の作成 高校・大学との連携体制構築 協力事業者・商業施設の確保	共通乗車制度利用ガイドの配布 高校・大学と連携した学生向け重点PR インセンティブ施策の検討・調整	商業施設等と連携した重点告知	利用促進キャンペーンの展開 (インセンティブ付与)		
	JR小野田線活性化委員会公式SNS、市広報紙・HPによるPR					
活性化委員会	勉強会 (月1回程度開催) 実務者会議 (必要に応じて検討テーマごと開催) 活性化委員会 ○ ○ ○	活性化委員会による進行管理 (実施状況の把握、課題抽出、改善策検討)				
効果測定		○	○	●	○	●

※制度の詳細、各種課題の対応等、全体のコストが見えた段階で、県補助金や国実証事業の活用、予算対応等について検討する。

いじめ認知件数及び不登校人数（小野田地区・山陽地区毎）推移

地区・校種	いじめ認知件数					不登校人数				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
小野田地区小学校	54	42	30	60	68	18	28	31	49	46
小野田地区中学校	23	17	32	37	40	55	73	60	70	61
山 陽地区小学校	16	9	21	21	35	8	11	19	16	12
山 陽地区中学校	14	9	17	17	16	19	14	21	25	29
合 計	107	77	100	135	159	100	126	131	160	148

	いじめ認知件数					不登校人数				
	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
小野田地区	77	59	62	97	108	73	101	91	119	107
山 陽地区	30	18	38	38	51	27	25	40	41	41
合 計	107	77	100	135	159	100	126	131	160	148

